

**「子宮頸がん放射線化学療法患者の恶心・嘔吐発現の影響に関する
多機関共同後ろ向きコホート研究～事後解析研究～」
実施に関するお知らせ**

このたび当院では上記の医学系研究を、青森県立中央病院倫理委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんに向けて、情報を公開しております。なお、この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を【お問い合わせ】に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願い致します。

1. 研究の目的

抗がん剤や放射線治療により発症する吐き気は、食欲不振、栄養失調、治療への不安と患者さんの生活の質に大きく影響し、その後の治療意欲や治療継続に影響を与えることがあります。患者さんへの生活の質を低下させる原因の一つとして、吐き気や嘔吐がありますが、これらの発生率を予測し、適切な予防対策を行うことで生活の質の向上が見込まれます。

そこで本研究では、子宮頸がん放射線化学療法が行われる患者さんの吐き気や嘔吐の原因について詳細に調べることでそのリスクとなる因子を見つけ、患者さんの治療に役立てることを目的としています。

2. 対象となる方

2016年1月～2024年3月に子宮頸癌に対するプラチナ製剤と放射線の併用療法を受けられた方を対象とします。

3. 研究の方法

電子カルテより各種記録、使用薬剤、採血および各種検査データを収集させていただきます。

4. 本研究の実施期間

研究実施許可日～2027年3月31日

5. 個人情報の保護

本研究で利用させていただく個人情報は、患者さん個人が直接特定できない匿名化情報として厳重に管理・保護いたします。プライバシーに係わる個人情報が外部に漏洩

する事は一切ありません。 なお、本研究の成果に関しては、患者・国民の皆様や外部組織への公表、医薬学的な学会での発表や専門的な雑誌での報告を行うことがあります、集団を記述した数値データとし、患者さん個人が同定されるデータを公表することは一切ありません。

6. 共同研究機関

本研究は、当院および下記の研究機関との共同研究となります。本研究にて得られた情報は「5. 個人情報の保護」に沿って処理をしたのち、本研究責任者所属機関である愛媛大学医学部附属病院へ提供いたします。

〈共同研究機関〉

愛媛大学医学部附属病院、新潟大学医歯学総合病院、聖マリアンナ医科大学病院、
新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院、山梨大学病院、
佐賀大学医学部附属病院、広島市民病院、長岡中央総合病院、
独立行政法人国立病院機構四国がんセンター、東京都立多摩総合医療センター、
日本赤十字社長岡赤十字病院、独立行政法人国立病院機構岩国医療センター、
山形大学医学部附属病院、東京薬科大学

【問い合わせ先】

青森県立中央病院 薬剤部 川村華純
住所：青森県青森市東造道 2-1-1
電話：017-726-8111（代表）